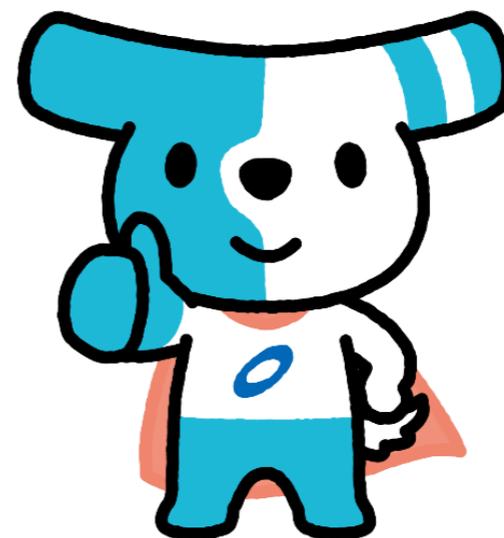


はじめてのでんさい ～受取利用編～

株式会社全銀電子債権ネットワーク（でんさいネット）



でんさいキャラクター「でんさい犬」
（「電(でん)子記録債権(さいけん)」が由来)

1	でんさいの利用までの流れ
2	利用準備(受取利用)
3	事例紹介(受取企業)
4	でんさいの機能
5	ウェブサイトの活用
6	よくある質問(受取企業)

1 でんさいの利用までの流れ

- でんさいの受取は以下の簡単な4ステップで利用可能です。
(関連コンテンツについて、次ページでご紹介します)

でんさい利用開始までの主な流れ



POINT

でんさいを検討する主なきっかけ

- ◎ 全面的な電子化の報道等を踏まえ、社内で導入の指示があった
- ◎ 取引先/取引金融機関からでんさいへの切替案内があった

でんさいの利用までの流れ

でんさいウェブサイト 「ご検討からご利用開始まで」 ページ

必見

「ご検討からご利用開始まで」 ページ

でんさいのはじめ方を知ろう!

でんさいで支払いたい
支払利用の流れ

でんさいで受け取りたい
受取利用の流れ

でんさいの受取利用には、①「案内状が届く」②「利用の検討」③「でんさい契約・回答」④「利用準備・受取開始」の4つのステップがあります。
「受取利用に関するチェックリスト」を参考にしてみましょう。

STEP ① 案内状が届く

- ☑ 取引先からの案内状の内容を確認しましょう
- でんさいの仕組みを確認する

STEP ② 利用の検討

- ☑ でんさいに切り替えた際のコストメリットを試算しましょう
- ☑ 社内事務・会計システムを確認しましょう
- ☑ 利用について社内決定をしましょう
- コストメリットを試算してみる

STEP ③ でんさい契約・回答

- ☑ 取引金融機関とでんさいの利用契約をしましょう
- ☑ 取引先に回答書を返送しましょう
- 取引金融機関を確認する

STEP ④ 利用準備・受取開始

- ☑ でんさいを取り扱う権限者等を設定しましょう (初期設定)
- ☑ 社内事務・会計システムを整備しましょう
- ☑ 受取開始後、取引先にてんさい切替の案内状を発送しましょう
- 受取の流れを確認する
- 案内状サンプルを確認する

チェック項目についてさらに詳しくまとめたPDFです!

[受取利用に関するチェックリスト \(詳細版\) をダウンロード](#)

チェックリスト (詳細版) イメージ

【受取利用に関するチェックリスト】

でんさいの受取を始めると必要な作業の一環です。各項目の作業が終わったら、チェックをしていきましょう。

STEP 1 案内状が届く

項目	作業内容	チェック
① 内容の確認	取引先からの案内状の内容を確認しましょう。	<input type="checkbox"/>

STEP 2 利用の検討

② コストメリットの試算	でんさいに切り替えた場合のコストメリットを試算しましょう。	<input type="checkbox"/>
③ 社内事務・会計システムの確認	社内事務を確認しましょう。 会計システムを確認しましょう。	<input type="checkbox"/>
④ 社内決定	利用について社内決定をしましょう。	<input type="checkbox"/>

STEP 3 でんさい契約・回答

⑤ でんさいの利用契約	取引金融機関とでんさいの利用契約をしましょう。	<input type="checkbox"/>
⑥ 回答書の返送	取引先から届いた案内状に回答しましょう。	<input type="checkbox"/>

STEP 4 利用準備・受取開始

⑦ 初期設定	でんさいを取り扱う権限者等を設定しましょう。	<input type="checkbox"/>
⑧ 社内事務・会計システムの確認	社内事務および会計システムを整備しましょう。	<input type="checkbox"/>

【受取開始後】

⑨ 他の取引先への案内	でんさい受取を開始した旨を他の取引先に案内しましょう。	<input type="checkbox"/>
-------------	-----------------------------	--------------------------

受取開始

④ 社内決定

利用について社内決定をしましょう。
でんさいの移行によってコスト削減、事務効率化、リスク削減が図れる点などを挙げて、社内全体で意思を統一し進めていくことが重要です。また、社内勉強会を実施するなど、自社がでんさいを取り入れるメリットを予め共有することで、業務手帳が変更となる部署等との調整がスムーズになります。

- 「何から始めたらいいのかわからない」という方は、こちらのコンテンツをご確認ください。
- でんさいの導入までの流れをフロー図で説明しており、全体像をイメージできます。
- でんさいの導入にあたってやるべきこと、活用できるコンテンツ、留意点などを時系列で確認できる「**チェックリスト (詳細版)**」をダウンロードできます。

1	でんさいの利用までの流れ
2	利用準備(受取利用)
3	事例紹介(受取企業)
4	でんさいの機能
5	ウェブサイトの活用
6	よくある質問(受取企業)

受取開始までのステップ

STEP 1

案内状が
届く



内容の確認

でんさいへの切替時期、利用手数料を確認します



仕組みの確認

でんさいによる取引の流れを確認します

2 利用準備(受取利用 ステップ②)

受取開始までのステップ

STEP 2 利用の検討



コストメリットの試算

手形とでんさいにかかる諸費用をそれぞれ確認し、比較
※金融機関ごとに異なります

当事者間の合意で領収書をなくすことも可

※領収書を発行する場合でも、でんさいで受け取った旨を記載すれば非課税

社内事務・会計システムの確認

支払条件や会計処理等の確認

社内決定

社内全体で意思を統一し、メリット等を共有

2 利用準備(受取利用 ステップ③)

受取開始までのステップ

STEP 3

でんさい
契約・回答



☑ でんさいの利用契約締結

取引金融機関へのお申込み

☑ 回答書の返送

案内状を受領した支払企業に
でんさい受取可能の回答送付
(利用者番号・決済口座情報)
の通知

回答書のサンプル (受取企業⇒支払企業)

受取企業⇒支払企業 別紙3

20XX年5月29日

株式会社大銀電気 総務部 宛

貴社名	株式会社全銀製作所		
住所	東京都千代田区千代田12345		
ご担当課名	経理部	ご担当者様名	山本
電話番号	03-1234-5678	FAX番号	03-1234-5678

「でんさい」の受取に関する回答書

1. 【〇】 今後「でんさい」を受取るよう申請します。

利用者番号	0	1	2	3	4	A	B	C	D										
金融機関名	全国銀行			金融機関コード						9	9	9	9						
決済口座	支店名			東京支店			支店コード						0	0	1				
	口座種別			■ 普通 □ 当座			口座番号						1	2	3	4	5	6	7

変更可能時期 2 0 X X 年 8 月 分

※「でんさい」を発生(手形でいう振出)する月。
後日、手形から「でんさい」への支払方法の変更開始時期等をご案内いたします。

2 利用準備(受取利用 ステップ④)

受取開始までのステップ

STEP 4 利用準備・ 受取開始



✓ 初期設定

でんさいを取扱う権限者等の設定

✓ 社内事務・会計システムの整備

STEP 2をもとに整備

▶ でんさいの受取開始

(受取開始後)

✓ 他の取引先への案内

請求書や領収書郵送時に同封、
FAXでの送信等

案内状サンプル

でんさい受取対応開始の案内状ひな型
(受取企業⇒支払企業)
※本文は参考としてお示ししているものであり、貴社用に加工いただきご使用願います。

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

お取引先 各位

〇〇〇〇〇〇〇〇

「でんさい」での受取対応開始について

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、お取引先様へのご請求について、約束手形および小切手を利用しておりましたが、政府における2026年までの約束手形・小切手の利用廃止の方針を受け、弊社においても「でんさい」での受取ができるようにいたしました。
※「でんさい」は、株式会社全銀電子債権ネットワーク（通称「でんさいネット」）が提供する電子記録債権のことです。利用イメージについては、別紙「でんさいについて」を

請求書記載例

請求書		請求No.
		請求日
ご担当: 御中 様		
下記の通り、ご請求申し上げます。		
件名		〇〇株式会社
お支払期限		〒 東京都新宿区新宿
お振込先	●●銀行	△△ビル3階
	新宿支店	TEL:
	当座 1234567	FAX:
	サンプル(カ)	E-Mail:
		担当:
	¥0 (税込)	

空欄に自社（受取企業）の**利用者番号**を記載し、
でんさいが利用できることを案内

受取利用における対応の流れ

対応事項(例)	1月	2月	3月	~
支払企業からの案内状受領、導入検討（コストの試算等）、社内決定	➡			
でんさいの利用契約締結		➡		
でんさい受取可能の回答送付（利用者番号・決済口座情報の通知） ※支払企業情報の登録（指定許可機能を利用する場合）			➡	
でんさいの受取開始			★	

※対応事項および期間は、経理処理方法（自動消込の要否）、導入している会計ソフト（でんさい対応の要否）等により異なります。

- でんさいの受取開始には、支払企業からの案内状受領後、概ね**1か月～3か月程度**要しています。

1	でんさいの利用までの流れ
2	利用準備(受取企業)
3	事例紹介(受取企業)
4	でんさいの機能
5	ウェブサイトの活用
6	よくある質問(受取企業)

B株式会社 業種(製造業) 1952年設立

【背景】

- 複数取引先からでんさいへの切替について何度か案内を受ける
- 手形の電子化(2026年度末)について報道を通じて知る

⇒金融機関の担当者に相談。

【検討事項】

- 何から検討したらよいか分からなかった

⇒でんさいネットウェブサイトの「ご検討からご利用開始まで」
から資料をダウンロード

⇒チェックリストに沿って検討を開始

【受取利用編】

【受取利用に関するチェックリスト】 

でんさいの受取を始めるにあたり必要となる作業の一部です。各項目の作業が終わったら、チェックをしていきましょう。

STEP 1 案内文書が届く

項目	作業内容	チェック
① 内容の確認	取引先からの案内文書の内容を確認しましょう。	<input type="checkbox"/>

↓

STEP 2 利用の検討

② コストメリットの試算	でんさいに切り替えた場合のコストメリットを試算しましょう。	<input type="checkbox"/>
③ 社内事務・会計システムの確認	社内事務を確認しましょう。 会計システムを確認しましょう。	<input type="checkbox"/>
④ 社内決定	利用について社内決定をしましょう。	<input type="checkbox"/>

↓

STEP 3 でんさい契約・回答

⑤ でんさいの利用契約	取引金融機関とでんさいの利用契約をしましょう。	<input type="checkbox"/>
⑥ 回答書の返信	取引先から届いた案内文書に回答しましょう。	<input type="checkbox"/>

↓

STEP 4 利用準備・受取開始

⑦ 初期設定	でんさいを取り扱う権限等を設定しましょう。	<input type="checkbox"/>
⑧ 社内事務・会計システムの確認	社内事務および会計システムを整備しましょう。	<input type="checkbox"/>

↓

受取開始

【受取開始後】

⑨ 他の取引先への案内	でんさい受取を開始した旨を他の取引先に案内しましょう。	<input type="checkbox"/>
-------------	-----------------------------	--------------------------

【B社(受取企業)が感じたメリット】

手形のデメリット

受領業務や受領した手形の管理が面倒
取立失念のリスク

支払期日の翌営業日以降にしか
資金化できない

紛失・盗難のリスク

任意の額に複数枚に分けて
手形振出を依頼

でんさいのメリット

金融機関への**取立依頼が不要**
支払期日**当日に自動入金**

支払期日**当日から資金利用可能**

現物がないため**リスク解消**

満額受け取り、
任意の額で**分割譲渡が可能**



POINT

支払企業ばかりメリットを感じていたが
自社(受取企業)でも多くのメリットがあることを確認

【導入に際しての社内調整】

担当者・所属部署のでんさいへの理解度向上

⇒ **でんさいネット**が提供している**説明資料**を請求(無償)

- 取引金融機関のサポートデスクに電話して疑問を解消
- 取引先に説明する営業部署と経理部署で、社内勉強会を開催

(**でんさいネット職員に講師を依頼(無償)**)し、事前に社内でメリットを共有

<でんさい説明資料>



でんさいネット
ウェブサイトから
無償で請求可能
(全8種類)

【B社が実際に利用するまでのスケジュール】

- 支払企業から案内状を受領して、でんさいの受取開始するまで**約2ヶ月半**かかった
- 適宜、取引先に対して、でんさいの受取が可能になった旨連絡中

対応事項(参考)	4月	5月	6月	7月
支払企業からの案内状受領、社内導入検討(支払条件の確認等)		→		
でんさい導入(受取)の社内決定			★	
でんさいの利用契約締結(約2週間)			→	
でんさいの受取利用の開始				★
でんさい受取可能の回答送付(利用者番号・決済口座情報の通知) 過去にでんさいでの受取依頼があった取引先に案内⇒継続的に対応				→

※対応事項および期間は、経理処理方法(自動消込の要否)、導入している会計ソフト(でんさい対応の要否)等により異なります。

B株式会社からメッセージ

- まずは担当者自身がでんさいの知識を身に付けるように、取引金融機関のサポートデスクに電話して不明な点を解消した
- 取引先(支払企業)ばかりにメリットがあると思っていたが、始めてみると自社(受取企業)も“コスト削減”や“事務負荷軽減”のメリットがあった
- でんさいの受取利用に慣れてきたので、近々支払利用に向けて検討中



POINT

でんさいの受取利用導入は思った以上に簡単。

- ・ 操作方法を事前に体験することで2ヶ月程度で慣れた。
- ・ でんさい1件受け取る方が手形1件受け取るよりラク

でんさいネットウェブサイトを活用して
効率よくでんさいへの切替をご検討ください。
詳細は右の二次元コードからご確認ください👉

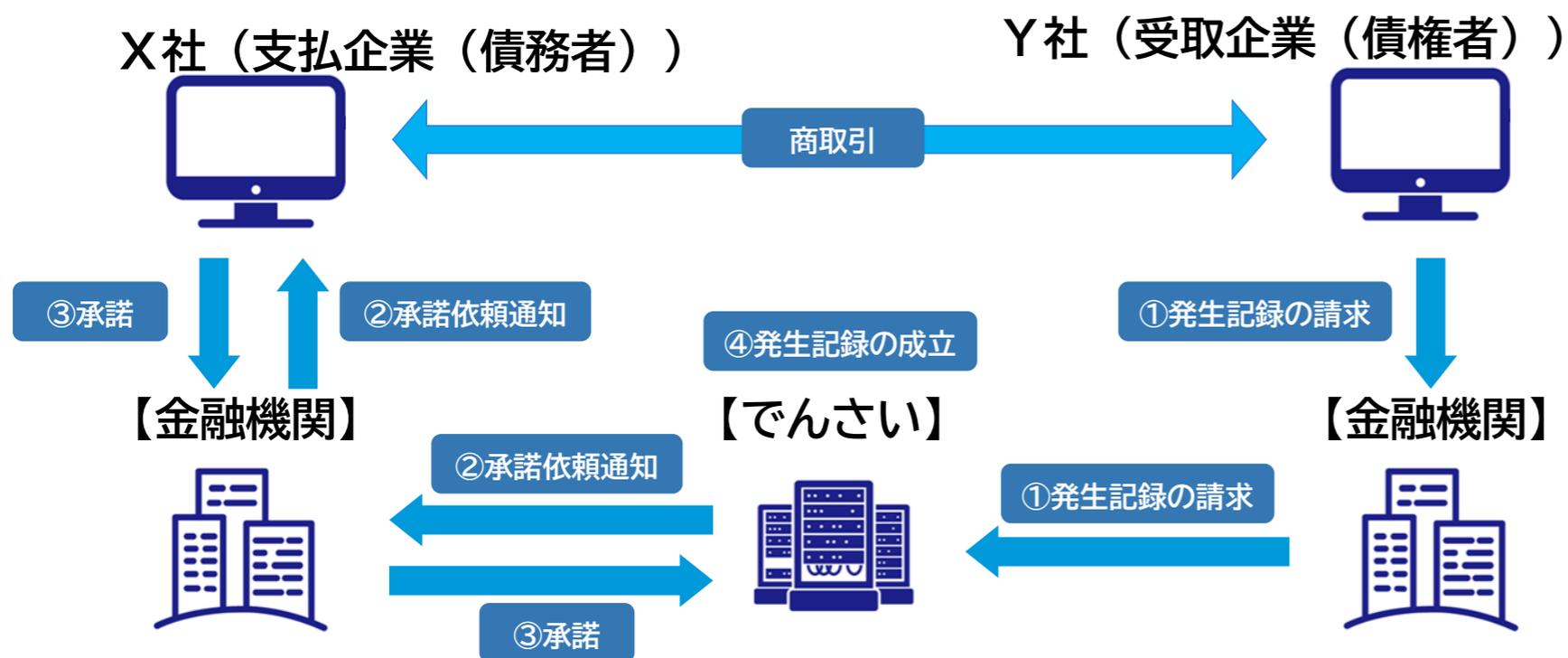


1	でんさいの利用までの流れ
2	利用準備(受取利用)
3	事例紹介(受取企業)
4	でんさいの機能
5	ウェブサイトの活用
6	よくある質問(受取利用)

1
2
3
4
5
6

債権者請求方式

(「債権者請求方式」の取引イメージ)



- 債権者請求方式とは、でんさいの発生記録を債権者から請求し、債務者が承諾する方式。

否認または未承諾で5銀行営業日経過⇒発生記録不成立



POINT

◎支払企業は、でんさいの発生漏れが防止できます。

◎受取企業は、自らでんさいの発生を管理できるため、消込負担がなくなります。

4 でんさいの機能(請求者Ref.No)

請求者Ref.No (レフナンバー)

(でんさい情報の送信イメージ)



債権金額	10,000,000円
支払期日	20xx年9月30日
債務者情報	X社
債権者情報	Y社
Ref. No	40桁の英数字 (任意) →請求書番号などを入力



- でんさいの発生・譲渡時には、**請求者Ref.No (レフナンバー)**として**任意の英数字 (40桁)**を入力することが可能。
- 請求書番号などを入力することで、**何の支払であるかの確認が容易に。**



- ◎受取企業は、**請求書番号**が付随していることで、消込が効率化できます。
また、複数の商取引 (請求書) を1つのでんさいで発生させた場合でも**消込に迷いません。**
- ◎支払企業も、どの商取引の支払いであるか**簡単に確認**できます。

1	でんさいの利用までの流れ
2	利用準備(受取利用)
3	事例紹介(受取企業)
4	でんさいの機能
5	ウェブサイトの活用
6	よくある質問(受取企業)

1
2
3
4
5
6

「でんさいとは」ページ

(画面イメージ)

支払企業、受取企業はそれぞれ何がおトク?
でんさいのメリット

支払利用 **受取利用**

でんさいとは、株式会社全銀電子債権ネットワーク（通称 でんさいネット）が取り扱う電子記録債権を指します。
 電子記録債権は、手形・指名債権（売掛債権等）の問題点を克服した金銭債権です。

手形からでんさいに切り替えると、事務負担がこんなにも軽減！↓

手形 開始 現物管理 → 手続 → 印紙押印 → 封入発送 → 終了

でんさい 開始 現物管理 → 手続 → 印紙押印 → 封入発送 → 終了

- でんさいのメリットなどを事例紹介を交えて紹介しています。
- 「でんさいアカデミー」では、でんさいのリーフレットやチラシ等を紹介しており、**無償で配付**しています。
 ※送料もでんさいネットが負担
- でんさいに関する動画も掲載しており、いつでも視聴が可能です。

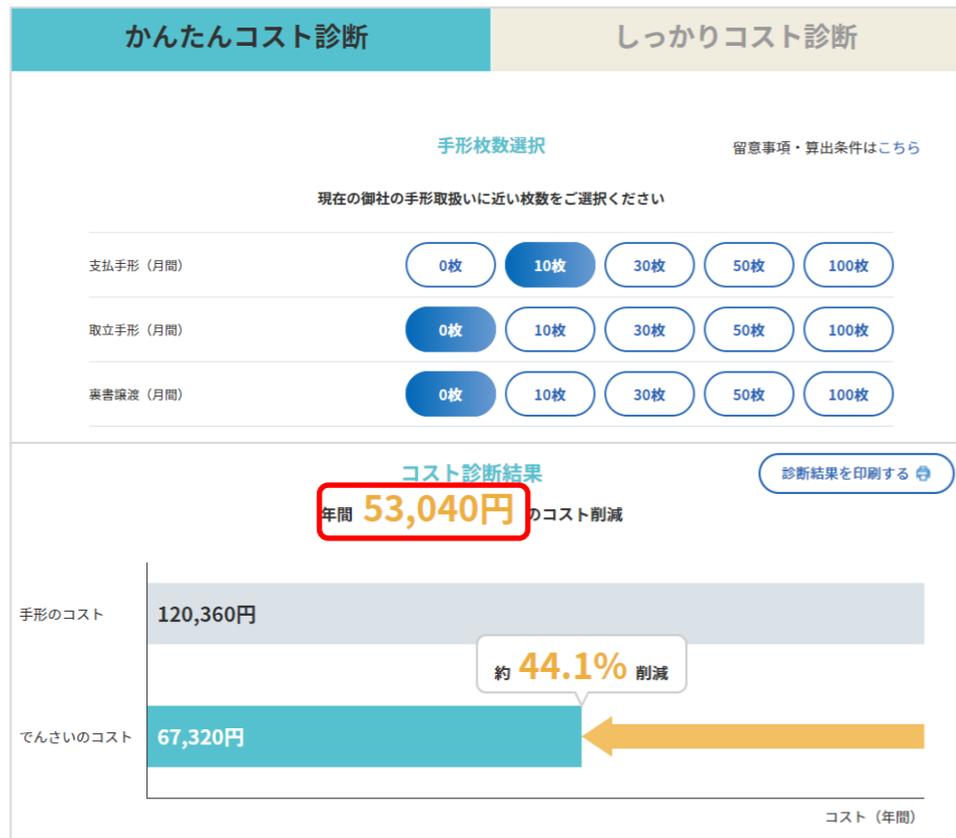
無償配付中のツール

- ・リーフレット（はじめての方向け）
- ・導入案内チラシ（手形ご利用者向け）
- ・マンガ冊子（より簡単にでんさいを知りたい方向け）
- ・パンフレット（より詳しく知りたい方向け）

5 ウェブサイトの活用(コスト診断)

「コスト診断」ページ

(「かんたん版」の画面イメージ)



- 手形からでんさいに切り替えた際のシミュレーションツールを2種類（「かんたん版」と「しっかり版」）掲載しています。
- 「かんたん版」は3種類の手形取引について取扱枚数に近い選択肢を選ぶ（3クリック）だけでコスト削減額（概算）を算出、「しっかり版」は印紙税や郵送費などについて自社の金額を入力することで、詳細なコスト削減額の算出ができます。

※手数料は各金融機関ごとに異なります。詳しくは取引金融機関にお問い合わせください。

「お取引先でんさい利用状況検索サービス」ページ

(画面イメージ)

お取引先でんさい利用状況検索サービス

1 2 3

「お取引先でんさい利用状況検索サービス」では
お取引先がでんさいをご利用しているかどうかを検索できます。

法人名称

法人名 (部分一致) 法人名カナ (前方一致)

全角100文字以内

登記住所

市区町村 郵便番号

都道府県 選択してください

市区町村 先に都道府県を選択してください

検索する

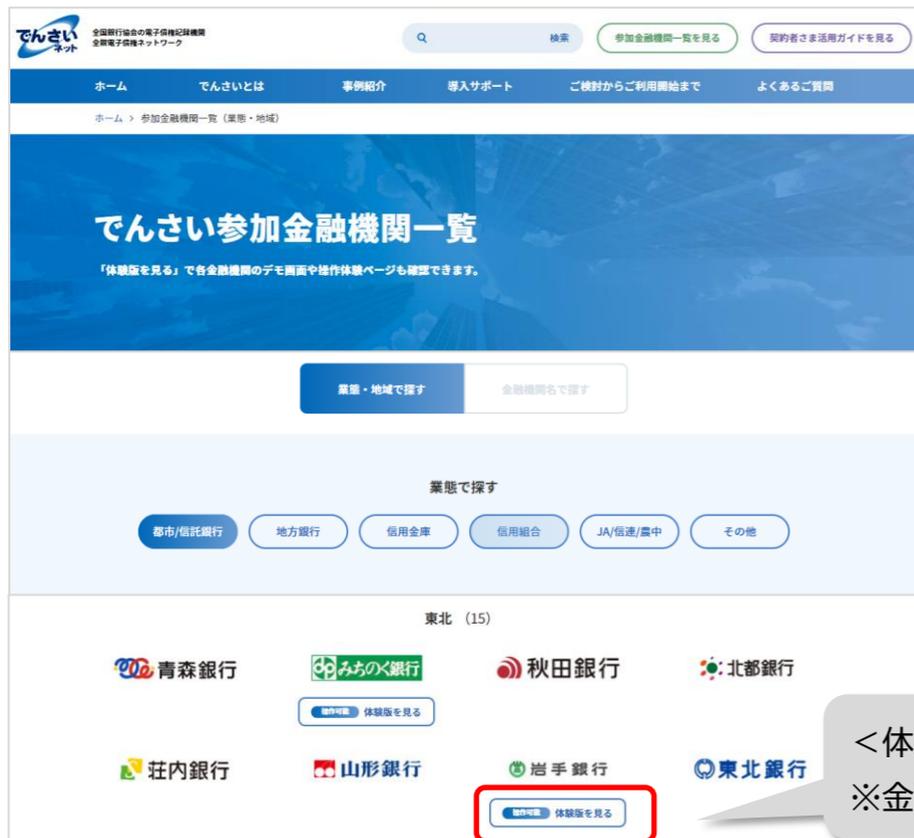
- **企業のでんさいの契約有無を確認できる**コンテンツです。
- 取引先のでんさいの案内をする前に、企業が自ら取引先の契約の有無を確認できるので、企業間で**調整の手間の省力化が可能**となります。

【利用手順】

- ① 利用規約を確認。
 - ② 法人名称を入力し登記住所（都道府県/市区町村）を選択（郵便番号を入力でも可）。
 - ③ でんさいの利用契約があれば、法人名、登記住所等が表示※。
- ※個人事業者および検索対象からの除外をでんさいネットに申し出ている法人は検索の対象外

「参加金融機関一覧(体験版)」ページ

(画面イメージ)



- でんさいのサービスを提供している金融機関一覧と操作体験版を掲載しています。
- **実際に取引金融機関の操作画面を確認いただけるので、**でんさいの操作に不安をお持ちの方はぜひご利用下さい。

<体験版を見る>をクリックすれば、**金融機関が提供しているでんさいの操作画面の体験が可能※**
 ※金融機関によっては操作体験版を提供していない場合もあります

1	でんさいの利用までの流れ
2	利用準備(受取利用)
3	事例紹介(受取企業)
4	でんさいの機能
5	ウェブサイトの活用
6	よくある質問(受取企業)

■ 受取企業からの質問

質 問	回 答
でんさいの受取開始には、どのようなメリットがありますか？	でんさいの受取を開始すると、①コスト削減（領収書の印紙税や郵送料が不要）、②事務負荷軽減（手形の管理、取立不要）、③リスク軽減（手形紛失・盗難リスクの低減）、④資金繰り円滑化（手形と同様に譲渡・割引が可能で必要な分だけ分割して資金化が可能）といったメリットが享受できます。
今までは手形を割り引いて資金繰りを行っていたのですが、でんさいではどのようにすればいいですか？	手形と同様、でんさいも割引を行い、支払期日前に資金化することが可能です。詳しい取扱いについては取引金融機関へお問い合わせください。
取引先から受け取ったでんさいは、受け取った当日に別の取引先へ譲渡できますか？	可能です。なお、発生の予約を受けたでんさいの場合、発生日が到来する前（予約期間中）でも、譲渡の予約ができます。